

大学教育学会 課題研究活動報告書 (2019 年度)

提出日 2020 年 3 月 19 日

報告者 杉森 公一

課題研究テーマ	アクティブラーニングを支援する学生アドバイザーの制度・研修・効果に関する実証的研究
代表者 (所属)	杉森公一 (金沢大学)
メンバー (所属)	堀井祐介 (金沢大学)・河内真美 (金沢大学)・山本啓一 (北陸大学)・田尻慎太郎 (北陸大学)・宮本知加子 (福岡工業大学)・三浦真琴 (関西大学)・安部有紀子 (大阪大学)
担当理事	山内正平
コメンテーター (所属)	沖裕貴 (立命館大学)
実施した活動	今年度は、課題研究委員会の開催と大会ラウンドテーブル、課題研究シンポジウムを通じて、学生アドバイザー実践の報告・共有を中心に実践の枠組み化を検討した。研究委員の所属機関における実践事例収集のほか、共通アンケートの分析、米国大学事例、ピアサポートの観点から学生アドバイザーの実践枠組みに必要な要素を検討した。これらの研究遂行を通して、アクティブラーニング型授業における学修支援を実現する学生アドバイザー、その制度・研修・活動・効果の検証につなげ、さらに線から面へ展開する議論を行う。
成果	<p>(学会発表)</p> <p>杉森公一・三浦真琴・宮本知加子・田尻慎太郎 (2019) アクティブラーニングを支援する学生アドバイザーの制度・研修・効果に関する実践枠組みの検討, 大学教育学会第 41 回大会ラウンドテーブル, 2019 年 6 月 2 日</p> <p>課題研究シンポジウム II「アクティブラーニングを支援する学生アドバイザーの制度・研修・効果に関する実証的研究」, 大学教育学会課題研究集会, 2019 年 12 月 1 日</p> <p>(論文)</p> <p>堀井祐介 (2019) アクティブ・ラーニングを支援する学生アドバイザーの制度・研修・効果に関する実証的研究, 大学教育学会誌, 41(1), 71-72. 三浦真琴 (2019) 学生アシスタントに関する関西大学の事例と今後の課題, 大学教育学会誌, 41(1), 73-77. 宮本知加子 (2019) 福岡工業大学クラスサポーターの事例, 大学教育学会誌, 41(1), 78-82</p> <p>河内真美 (2019) 金沢大学アクティブ・ラーニング・アドバイザーの事例, 大学教育学会誌, 41(1), 83-87. 河内真美・杉森公一 (2019) アクティブ・ラーニング型授業における学生による学修支援の効果, 大学教育学会誌, 41(1), 137-146. 杉森公一・田尻慎太郎・宮本知加子・三浦真琴 (2019) <ラウンドテーブル報告>アクティブラーニングを支援する学生アドバイザーの制度・研修・効果に関する実践枠組みの検討, 大学教育学会誌, 41(2), 95-99.</p> <p>(ポスター発表)</p> <p>河内真美・杉森公一 (2019) 学生アドバイザーの参画による授業改善と教師の変容: 金沢大学の ALA 制度を事例として, 大学教育学会課題研究集会, 2019 年 11 月 30 日</p>
残された課題	学生アドバイザー制度の運営者に向けた全国アンケート、学生・学生アドバイザー・教員への共通アンケート紙の実施と事例収集のためのインタビューを計画しており、最終年度に向けて、得られた知見から実践枠組みの検討と公表を目指している。